

安全データシート ファインスナイパー

1. 製品及び会社情報

製品の名称

製品名： ファインスナイパー

会社名： 日本化薬株式会社

住所： 東京都千代田区丸の内2丁目1-1

担当部門： アグロ事業部

電話番号： 03-6731-5325

FAX番号： 050-3730-8045

緊急連絡先： 平日・昼間 アグロ事業部（電話番号03-6731-5325）

休日・夜間 鹿島工場（電話番号0479-46-2753）

メールアドレス： agro.info@nipponkayaku.co.jp

用途及び使用上の制限： 農薬（殺虫剤）

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）

区分4

急性毒性（経皮）

区分に該当しない

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）

区分に該当しない

皮膚腐食性／刺激性

区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

区分に該当しない

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

区分に該当しない

生殖細胞変異原性

区分に該当しない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

分類できない

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分1（卵巣）*

区分2（下垂体、子宮、腎臓）*

*経口経路でのデータに基づく分類区分である。

誤えん有害性

分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）

区分1

水生環境有害性 長期（慢性）

区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

安全データシート ファインスナイパー

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険性有害性情報：

飲み込むと有害

水生生物に非常に強い毒性

長期にわたる、または反復ばく露による卵巣の障害

長期にわたる、または反復ばく露による下垂体、子宮、腎臓の障害のおそれ

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取り扱い後は良く口/手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。

[応急措置]

飲み込んだ場合

気分が悪い時は医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

漏出した場合

漏出物を回収すること。

[保管（貯蔵）]

—

[廃棄]

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理すること。

他の危険有害性

—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

一般名

フロメトキン (Flometoquin)

化学名

2-エチル-3,7-ジメチル-6-[4-(トリフルオロメトキシ)フェノキシ]-4-キノリル=メチル=カルボナート

成分及び含有量

成分	含有量(%)	CAS番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
フロメトキン	10	875775-74-9	—	8-(1)-3685
その他	90	営業秘密につき非公開		
危険性有害性分		フロメトキン (劇物)		

安全データシート ファインスナイパー

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 多量の水でうがいし、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水および石鹸でよく洗い流す。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当を受ける。 汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	清浄な水で15分間以上注意深く洗眼する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合	吐き出させる。 直ぐに医師の診断を受ける。
急性症状	—
遅発性症状の最も重要な徴候症状	—
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋等、保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	特別な解毒剤は知られていない。 症候に基づく標準的対応をする。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、アルコフォーム、霧状水
使ってはならない消火剤	冷却の目的で霧状水を用いても良いが、消火に棒状水を用いてはならない。
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。 火災発生場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し、冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう、適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。 消火作業の際は、状況に応じて適切な保護具(消火服、保護眼鏡、手袋、ゴム長靴、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 作業者は状況に応じて適切な保護具を着用し、当該物の直接接触を避ける。
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

安全データシート ファインスナイパー

環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収・中和	漏出したものは砂、土、その他の吸収材料を使用して流出を阻止し密閉できる容器に回収する。
封じ込め及び浄化の方法	危険でなければ漏れを止める。汚染された箇所は、布などで拭き取る。
二次災害防止策	おが屑のような可燃物は使用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項	
火災、爆発防止などの技術的対策	取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄をおこなうための設備を設置する。
取扱者のばく露防止策	皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。 保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用する。
エアロゾル・粉じんの発生防止策	取り扱う場合には、局所排気内、または全体換気のある場所でおこなう。
保管上の注意事項	
混触させてはいけない化学物質	塩基性物質、酸性物質
保管条件(適切及び避けるべき条件)	子供の手の届かない場所に保管する。 施錠できる場所に容器を密栓して、冷暗所に保管する。 食品や飼料と同じところに保管しない。 火気、熱源より遠ざける。
容器包装材料	基本的には製品容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的指標)	
ACGIH(2020年)	設定されていない。
日本産業衛生学会(2020年)	設定されていない。
設備対策	できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	防毒マスク、送気マスク、自給式呼吸器
手の保護具	保護手袋
眼及び/又は顔面の保護具	保護眼鏡 (普通めがね型、側板付き普通めがね型、ゴーグル型) 保護面 (防災面)
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	類白色

安全データシート ファインスナイパー

臭い	特になし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	該当せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5.0～9.0 (20℃)
動粘性率(動粘度)	データなし
溶解度	水に不溶。均一に分散する
n-オクタノール／水分配係数(Log値)	データなし
蒸気圧	データなし
相対密度(比重)	1.0～1.1 (20℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	特に知られていない。
化学的安定性	通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	特に知られていない。
避けるべき条件	光にあると分解
混触危険物質	塩基性物質、酸性物質により加水分解を受ける。
危険有害な分解生成物	特に知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

(経口)	ラット LD ₅₀ 雌 300<LD ₅₀ ≤2000 mg/kg (区分4)
(経皮)	ラット LD ₅₀ 雌雄 >2000 mg/kg (区分に該当しない)
(吸入：粉じん／ミスト)	ラット LC ₅₀ 雄雌 >5.618 mg/L (区分に該当しない)

皮膚腐食性／刺激性

ウサギを用いた皮膚刺激性試験において刺激性変化が認められないため、区分に該当しないとした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

ウサギを用いた眼刺激性試験において結膜に極軽度の刺激性変化が認められたが、24時間までにすべて消失したことから、区分に該当しないとした。

呼吸器感作性

各成分とも情報がないため分類できないとした。

皮膚感作性

モルモットを用いた皮膚感作性試験(Buehler法)において、投与量100%で惹起開始24時間後及び48時間後に陽性反応が認められないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性

フロメトキン原体
 復帰突然変異(*S. typhimurium*)、染色体異常及び小核誘発性が陰性

安全データシート ファインスナイパー

	で本製品中の対象成分が区分に該当しないため、区分に該当しないとした。
発がん性	フロメトキン原体 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
生殖毒性	フロメトキン原体 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	フロメトキン原体 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	フロメトキン原体の分類に基づき、区分 1 (卵巣)、区分 2 (下垂体、子宮、腎臓) とした。
誤えん有害性	各成分とも情報がないため分類できないとした。

1 2. 環境影響情報

生態毒性		
水生環境有害性 短期(急性)	コイ	急性LC ₅₀ 520 mg/L(96時間)
	ニジマス	急性LC ₅₀ 0.066 mg/L(96時間)
	オオミジンコ	急性遊泳阻害EC ₅₀ 0.0015 mg/L(48時間)
	藻類	生長阻害E _r C ₅₀ 720 mg/L(0~72時間) 生長阻害NOECr 98 mg/L(0~72時間)
		ニジマス及び甲殻類に対する急性影響に基づき、区分 1 とした。
水生環境有害性 長期(慢性)		環境中における本製品の主要成分の消失が極めて速く、生物蓄積性も小さいと考えられるため、区分 2 とした。
陸上生物急性有害性	捕食性ダニ (<i>Typhlodromus pyri</i>)	LR ₅₀ > 500 g a. i. /ha (7日間)
	寄生蜂 (<i>Aphidius rhopalosiphi</i>)	LR ₅₀ = 86.85 g a. i. /ha (48時間)
残留性・分解性		光により急速に分解。
生体蓄積性		濃縮倍率 1.6~5.4 (フロメトキン原体)
土壤中の移動性		情報なし
オゾン層への有害性		情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	毒物及び劇物取締法に関する基準に従うこと。 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。 下水道、地面、いかなる水域にも投棄してはならない。
汚染容器及び包装：	容器を 3 回洗浄する。その際、環境や水の汚染を避けること。 空容器を再利用してはならない。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規制に従う
国連番号	UN3082
国連品名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (FLOMETOQUIN 10%SC)

安全データシート ファインスナイパー

国連危険有害性クラス	9(有害性物質)
副次危険性	—
容器等級	III
海洋汚染物質	MARINE POLLUTANT
MARPOL 73/78 付属書2及び IBCコードによるばら積み 輸送される液体物質	—
国内規制	
海上規制情報	危険物船舶運送および貯蔵規則(危規則)第3条、危険物告示別表第1有害性物質 船舶安全法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。
航空規制情報	施行規則第194条危険物告示別表第1 その他の有害物件(S-1等級3) 航空法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法(劇物) 道路法の規定に従った容器・包装・表示、積載・輸送方法により輸送する。
緊急時応急措置指針番号	171
輸送上の特別安全対策及び条件	容器の破損、漏れがないことを確かめること。 荷くずれ防止を確実にこなうこと。 該当法規にしたがって、包装、輸送、表示、輸送を行う。
15. 適用法令	
農薬取締法：	適用(農林水産省登録第24640号)
消防法：	非該当(非危険物)
毒物及び劇物取締法：	劇物(毒物及び劇物指定令第2条13の4)
労働安全衛生法：	第57条の2(通知対象物質)に該当しない
化学物質排出把握管理促進法(化管法)：	非該当(2009年10月1日に施行された改正法に伴う記載) 2023年4月1日に施行される政令改正でも変更なし。
航空法：	環境有害物質(液体)
船舶安全法：	環境有害物質(液体)
港則法：	環境有害物質(液体)
道路法：	施行令第19条の13(通行制限物質)劇物
16. その他の情報	
引用文献：	JIS Z 7252/7253:2019改正(国連GHS文書改訂6版(2015)対応) 農薬登録申請資料(非公開)
記載内容の問い合わせ先：	アグロ事業部 03-6731-5325
改訂の記録：	作成 2022年8月30日 ファインスナイパーとして新規作成

安全データシート ファインスナイパー

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、記載事項は通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。